

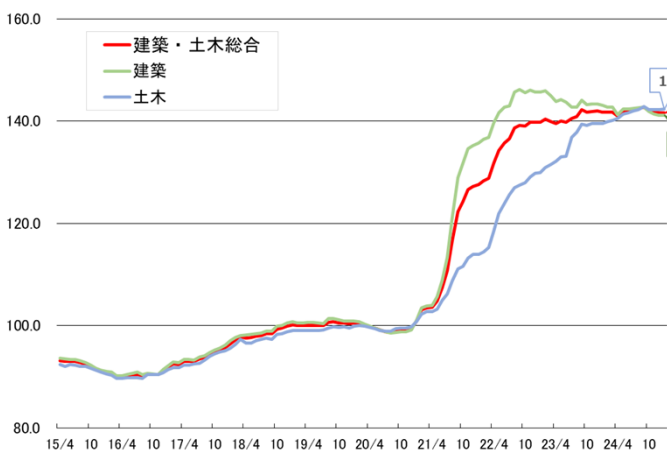
# 積算資料 建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

## 指数の推移（2025年1月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	141.6	±0.0	-0.2
建築	141.1	-0.1	-2.0
土木	142.4	+0.1	+2.8

指数の詳細な計算結果はこちら  
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



## 部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none"><li>●生コンクリート：+14.2高松</li><li>●コンクリート二次製品：+2.9名古屋、+2.8新潟</li><li>●瀝青材：+0.4那覇</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●普通鋼鋼材：-1.0東京、-0.9名古屋、-0.8仙台・新潟、-0.3札幌</li></ul>
建築	<ul style="list-style-type: none"><li>●生コンクリート：+13.5高松</li><li>●コンクリート二次製品：+4.0名古屋</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●普通鋼鋼材：-1.2新潟・名古屋、-1.1仙台・東京、-0.4札幌</li></ul>
土木	<ul style="list-style-type: none"><li>●生コンクリート：+15.2高松</li><li>●コンクリート二次製品：+5.5新潟、+1.3名古屋</li><li>●瀝青材：+1.1那覇</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●普通鋼鋼材：-0.5東京、-0.4仙台・新潟・名古屋、-0.3札幌</li></ul>

## 指数集計対象資材の市況

1月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合指数で141.6と前月比変わらず。前年の同じ月と比較してもマイナス0.2ポイントと小幅な動きにとどまった。名古屋以東の地区で普通鋼鋼材の価格が下落した一方で、生コンクリートやコンクリート二次製品の価格が一部地区で上昇したため、指数はこれを反映し上下の動きが相殺された。目先では、鋼材製品は需給環境好転の兆しがみえないことから価格が反転する見込みは薄い。また、生コンクリートやコンクリート二次製品は、原材料相場の上昇を背景に販売側の採算を重視する姿勢に変化はみられないことから、市況の動きは底堅いとみられる。しかし、いずれも価格が大きく動くとは考えにくいことから、指数は今後も小幅な動きを示しながら、おおむね横ばい推移となる見通し。

## 指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 普及推進室 TEL.03-5777-8212